

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立鯨江東小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- 本年度の学校の自己評価結果は妥当である。
- 目標達成に向けて、いろいろな取り組みをしている。1年間の努力がよくわかり、ありがたい。
- 学力や心の育ちについて、保護者アンケートの「できている」という回答の数値が後期はあがっているので、学校の頑張りがわかる。
- 図書館を整備やいろいろな取り組みで、子どもが本を読むようになってきている。読書は子どもにとって大きな意味をもつ。
- I C T 機器の活用は、これからの教育には必要である。
- 運動については、意識の面で課題が見られる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- ① 本年度の学習理解度到達診断において、2極化傾向の改善を図る。
(カリキュラム改革関連)
- ② 理由づけをして意見を述べたり書いたりできる児童の割合を 50 %以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で、国語・算数の授業の内容が「わかる」と回答する児童を昨年度より増加させる。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 本年度末の本校の保護者アンケート調査で「学力を定着させるような授業が行われている」と回答する保護者の割合を昨年度より向上させる。
(マネジメント改革関連)
- ⑤ 本年度末の読書アンケート調査で、次の各項目について、肯定的な回答の割合を平成 26 年度より増加させる。
 - ・本を読むのが好き。
 - ・本をよく読む。
(カリキュラム改革関連)

- 達成状況の評価に関しては妥当である。

- 保護者アンケートで、「子どもに学力を定着させるような授業が行われている」について「できている」という回答が増えているので、よく頑張っているのがわかる。
- I C T 機器が使えるようになることは、これからの子どもには必要なので、よい取り組みである。
- 2年間の取り組みで、本を読む子どもが増えている。読書は、子どもにとって大きな意味をもつ。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- ① 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で、自尊感情や規範意識に関連する次の各項目について「当てはまる」と回答する児童の割合を昨年度より増加させる。
 - ・ 自分にはよいところがある。
 - ・ 宿題や勉強道具を忘れずに持ってきてている。
 - ・ きまりや約束事を守っている。
 - ・ あいさつをしている。
(カリキュラム改革関連)

② 本年度末の本校の保護者アンケート調査で「集団意識を高めるとともに、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」と回答する保護者の割合を昨年度より増加させる。

(マネジメント改革関連)

③ 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で、「災害や事故・事件などから身を守るためにどのように行動したらよいかを知っている」と回答する児童の割合を75%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

○ 児童アンケートで、「どちらかといえば」という回答が多い。自信のなさが窺える。

○ 保護者アンケートで、「集団意識を高めるとともに、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」について、「できている」と答えている保護者の割合が増えている。学校の頑張りがわかる。

○ 挨拶は全体にはできるようになっているが、顔見知りでない人からの挨拶には応えない子が多い。

○ 体験活動は今年もたくさん実施されている。

○ 地域と連携した防災訓練は、繰り返し実施することが大切である。

年度目標：健康・体力の保持増進

① 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で健康に関する項目について、「(どちらかといえば) 当てはまる」と答える児童の割合を80%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

② 本年度末の本校の学校生活アンケート調査で「運動することが好き」の項目について「当てはまる」と答える児童の割合を70%以上、「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答の児童の割合を90%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

③ 本年度の体力テストにおいて、特に課題のある長座体前屈の記録で前年度より上回る。

(カリキュラム改革関連)

○ 達成状況の評価に関しては妥当である。

○ 健康に関する項目については、継続した取り組みの成果があがっている。

○ 運動することが好きでない子どもが、思っている以上に多い。かつては、みんな外で体を動かして遊んでいたが今はそうでなくなっている。

○ 体力テストの結果、改善された種目もあるが、柔軟性はなかなか成果が表れない。継続して取り組みをする。

3 今後の学校運営についての意見

○ 自己評価の結果は概ね良好で、達成状況も妥当である。さらに取り組みや啓発を進めていく。

○ 学校生活アンケートで、同じ子が否定的な回答をしているのかが気になる。

○ 読書好きな児童が増えている。子どもたちには、もっと伝記を読んでほしい。

○ 児童の問題行動については、これからも関係機関等の指導・助言を得ながら、児童一人一人にあった対応をしていく。

○ 学校選択制により、来年度も校区外から1年生が7人入学てくる。保護者と連絡を密にとり、児童の安全意識の向上にも努める。さらなる見守りをお願いしたい。(学校より)

○ 学校の取り組み状況を短時間で把握し、話し合えるように、プレゼンテーションソフトで作成したスライド資料を作成し、電子黒板を使って説明した。十分な意見交換には、さらに工夫がいる。